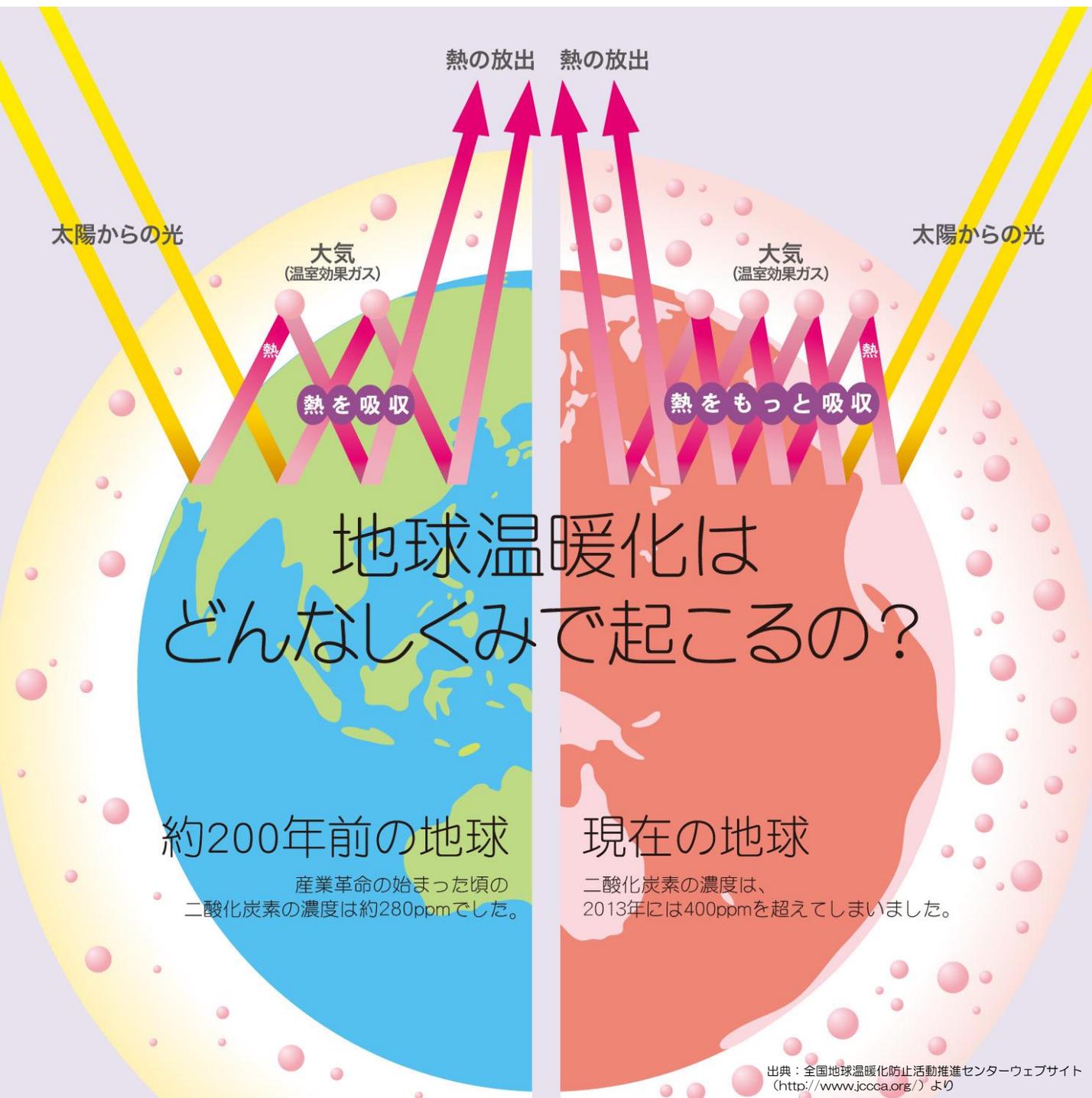


地球温暖化の仕組みと原因

地球は太陽によって暖められた熱の多くを宇宙に逃がしていますが、熱の一部を大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが吸収することで、一定の気温に保たれてきました。

地球温暖化とは、大気中に二酸化炭素などの温室効果ガスが必要以上に増えることにより、地球全体の気温が上がることで、その主な原因は、産業革命以降、人間の活動によって石油や石炭などの化石燃料を大量に消費することにより二酸化炭素の排出が増えたからです。

また、森林の減少により二酸化炭素の吸収が減ったことも影響しています。



約200年前の地球

産業革命の始まった頃の二酸化炭素の濃度は約280ppmでした。

現在の地球

二酸化炭素の濃度は、2013年には400ppmを超えてしまいました。